

神の言が成長し、増し加わり、力を増す。

義の言に対して経験を持つ。

神で構成された人の語りかけが必要である

聖書：使徒6:7. 12:24. 19:20. 20:32. ヘブル5:13-14. 創47:7. 49:28

I. キリストのからだのすべての肢体が神のために語るとき、神の言は成長し、増し加わり、力を増します——使徒6:7. 12:24. 19:20：

A. ステパノの死に続いて、召会に対する迫害のゆえに散らされた人たちは、「その地を歩き巡って、御言を……宣べ伝えた」——8:4：

1. 今日わたしたちが必要とすることは、すべての聖徒が神の言を語ることです。もしわたしたちすべてが語るなら、神の言は成長し、増し加わり、力を増します——6:7. 12:24. 19:20。

2. 最終的に、わたしたちが神の言を語ることによって、神の言である主イエスがやって来て、彼の王国ために戦います——啓19:11, 13, 16。

B. サタンは、信者たちが神のために語ることを妨げようとしします——使徒5:28, 40。

C. 使徒行伝第6章7節の「成長し」という言葉は、命の成長を指しています：

1. 神の言は命の事柄であり、人の心の中へとまかれた種として成長します——マルコ4:14。

2. 神の言は命の種です。この種は生きているので、いったん植えられると、成長し、増し加わり、拡大します——I ペテロ1:23-25。

3. 神の言は、実は主ご自身です。なぜなら、言は主の容器であるからです。こういうわけで、神の言が成長することは、実は主が成長することを意味します——マルコ4:26-29. コロサイ2:19. エペソ3:17. 4:13, 15-16。

D. 使徒行伝において、神の言は成長しただけでなく、増し加わりました——12:24：

1. 言はそれ自身が成長し、増し加わるのではなく、信者たちと共に成長し、諸召会と共に増し加わります——6:7. 9:31：

a. 信者たちが成長するとき、彼らの内側の言は成長します——コロサイ3:16。

b. 諸召会が増し加わるとき、言は諸召会の内側で増し加わります。

2. 神の言が成長し、増し加わったという事実は、信者たちと諸召会が言で満たされ、言と一であったことを示しています。これは、主がああな者に対して勝利を得た力強いしるしです——16節。

E. 神の言が成長し、増し加わり、力を増すために、わたしたちは神の恵みの言を享受する必要があります。わたしたちは恵みの言を受けて、神の言、すなわち神の語りかけとなるべきです——使徒14:3. 20:32。

F. 神の言が成長し、増し加わり、力を増すためには、わたしたちは祈る必要があります。すなわち、神が言のために戸を開いてくださること、神の言が速やかに宣べ伝えられ、栄光を得ること、またわたしたちがみな大胆さをもって神の言を語るようになることを、祈る必要があります——コロサイ4:3. IIテサロニケ3:1. 使徒4:29, 31。

II. わたしたちは義の言に対して経験を持つ必要があります——ヘブル5:13-14 :

- A. 義の言は固い食物です。義の言を食べることは、キリストを受け、経験し、享受する力強い方法です——13-14節。
- B. 義の言は現在のキリストについて語っています。彼は今や天におられ、わたしたちの奉仕者また大祭司であり、わたしたちに天的な命、恵み、権威、力を供給しており、またわたしたちが地上で天的な生活をするよう支えています——4:14-15. 7:26. 8:2 :
1. わたしたちは円熟へともたらされるために、義の言に対して経験を持つ必要があります——6:1. 5:13-14。
 2. もしわたしたちがキリストの天の務めに関する義の言において訓練されるなら、わたしたちは円熟へと到達し、褒賞を受けます。そうでないなら、わたしたちは経綸上の刑罰を受けます——4:11. 6:8. 10:35. 12:25, 28-29。
- C. 義の言葉は、神が経綸上と行政上においてご自身の民を対処する公正と義の思想を具体的に語り出しています——5:13 :
1. 義とは、神の義なる要求にしたがって、人、事、物に対して正しいことです——マタイ5:20。
 2. 義は、神の王国の事柄です。なぜなら、それは神の統治、行政、支配と関係があるからです——6:33. 詩89:14. イザヤ32:1。
 3. 義は、わたしたちの存在において神に対して正しいということですから—— I コリント15:34 :
 - a. わたしたちの存在において神に対して正しいとは、透明で水晶のように澄み渡った内なる存在、すなわち、神の思いとみこころとにある内なる存在を持つことです——コロサイ1:9. 3:1-2。
 - b. このように義であることは、キリストの中で神の義となることです—— II コリント5:21。
- D. わたしたちは義の言葉に対して経験を持つ必要があります。それによってわたしたちは、神のために語る必要のある言葉を持ち、ノアのように義の公布者とさえなります——ヘブル5:11-14. II ペテロ2:5。

III. 今日の召会生活には、神で構成された人の語りかけが必要です。このような人は、ヤコブのように、命において円熟し、祝福をもって預言する人です——創49:1-28. II コリント13:3. I コリント7:25, 40 :

- A. ヤコブの円熟の最も強いしるしは、彼が他の人を祝福したことです——創47:7, 10 :
1. 命の豊満は、祝福することです。すなわち、神が命として他の人の中へとあふれ流れることです——48:14-16. ヘブル7:7. ヨハネ7:38. I ヨハネ5:16。
 2. 創世記第49章でヤコブが祝福をもって預言したことは、円熟の現れです。なぜなら、わたしたちの語りかけは常に、わたしたちがどこにいるか、またわたしたちがどれほど円熟しているかを明らかにするからです。ヤコブの語りかけにおける変化は、彼が成長して円熟したことを明らかにします—— I コリント3:1-4. 創25:31. 27:19. 47:7。

3. 最終的に、ヤコブは神で構成された人となりました。彼は神をもって注入され、浸透され、徹底的に飽和されたので、彼の言葉は神の言葉であり、彼の語りかけは神の語りかけでした——49:1-28。
- B. もしわたしたちが神で構成されているなら、祝福をもって預言し、神を命として他の人の中へとあふれ流すことができます——ヘブル6:1. エペソ4:13。
- C. 神で構成された人が霊の中で神の言葉を供給するとき、一見すると語っているのは彼ですが、実は神の御子キリストが語っているのです。この言葉の奉仕者は無ですが、彼の唇から出てくるものは、すべてである方からのものです——II コリント 11:10. 13:3. I コリント 7:17-25, 40. エペソ 3:8。
- D. 召会が今日、必要とするのは、そのような神で構成された人の語りかけです——II コリント 13:3。